

# 新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 (高等学校 特別活動)

文部科学省  
初等中等教育局  
教育課程課教科調査官 長田 徹

1.特別活動の目標, 内容, 学習過程

2.特別活動を要にしたキャリア教育の推進

3.特別活動の学習評価

# 高等学校学習指導要領特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

# 特別活動の見方・考え方

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

# 特別活動の「視点」

## 自己実現

- ・集団の中で、自己の生活の課題を発見しよりよく改善する力や自己の理解を深め、自己のよさや可能性を生かす力。自己の在り方生き方を考え設計する力。
- ・集団の中において、個々人が共通して当面する現在及び将来に関わる問題を考察する中で育まれるものと考えられる。

## 社会参画

- ・よりよい学級（ホームルーム）・学校生活づくりなど、集団や社会に参画する力及び諸問題を解決しようとする力。
- ・集団の中において、個人が集団へ寄与する中で育まれるものと考えられる。

他者

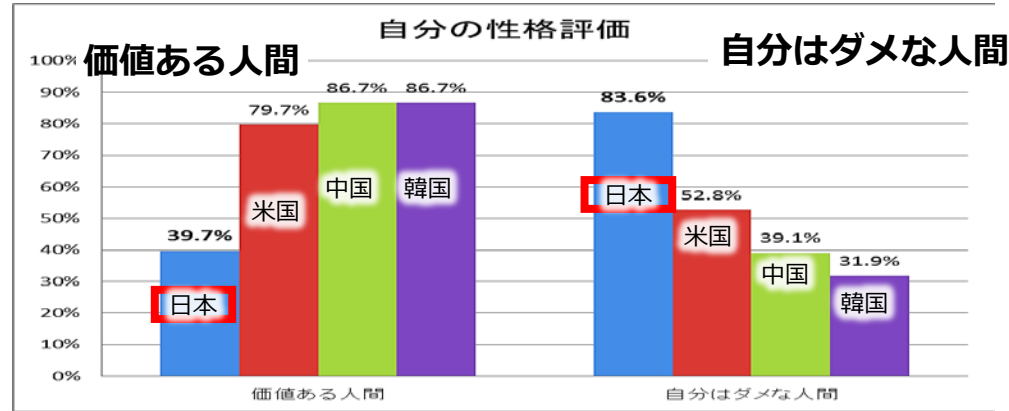
自己

集団・社会

## 人間関係形成

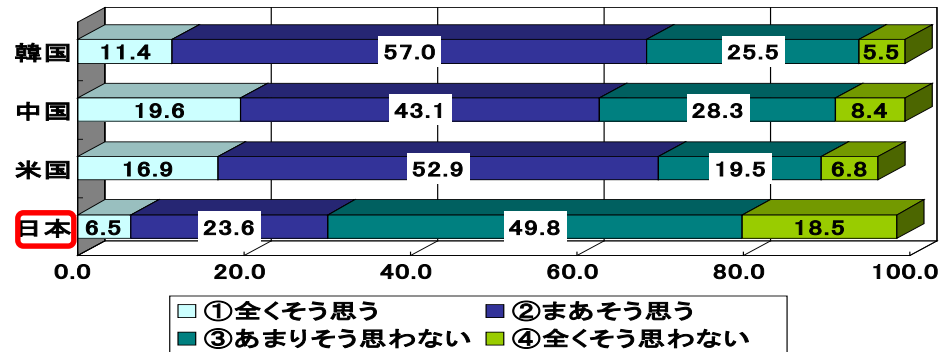
- ・集団の中で、よりよい人間関係を自主的、実践的に形成する力。
- ・集団の中において、個人対個人という関係性の中で育まれるものと考えられる。

# 高校生の実態から



(出典)  
 (財)一ツ橋文芸教育振興会, (財)日本青少年研究所「高校生の生活意識と留学に関する調査報告書」(2012年4月)より文部科学省作成

## 【問33-2】 私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない



(出典)  
 (財)一ツ橋文芸教育振興協会, (財)日本青少年研究所「中学生・高校生の生活と意識 - 日本・アメリカ・中国・韓国の比較 - (2009年2月)」より文部科学省作成

# 高等学校特別活動の各活動・学校行事



## 学校行事

時数規定なし  
全校，学年に準ずる

## ホームルーム活動

年間35時間以上  
ホームルーム

## 生徒会活動

時数規定なし  
全校の生徒

集団活動

自主的、実践的活動

- 生徒が学校生活を送る上での基盤となる力や社会で生きて働く力を育む活動として機能してきた。
- 生活集団、学習集団として機能するための基盤がつけられている。さらに生徒指導の機能、ガイダンスの機能が、それらを強固なものにすることに寄与している。
- 集団への所属感、連帯感を育み、それが学級文化、学校文化の醸成へとつながっている。

これら特別活動は日本の学校教育特有のもので、他の国には見られない文化なのです。

# 特別活動の特質「集団活動」

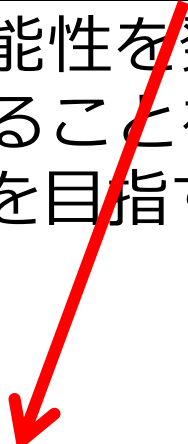
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な**集団活動**に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な**集団活動**の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために**話し合い、合意形成を図ったり**、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な**集団活動**を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。



# ホームルーム活動の「集団活動」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。



話し合い活動

集団活動

# 特別活動の特質「実践的な活動」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、**実践的**に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、**実践的**な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

# ホームルーム活動の「実践的な活動」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。



実践への意欲

実践的な活動

# 特別活動における「自発的，自治的な活動の助長」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら**集団や自己の生活上の課題を解決すること**を通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) **集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するため**に話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

# 特別活動の学習過程「合意形成と意思決定」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、**合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。**
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

# ホームルーム活動「1 2 内容」

- (1) ホームルームや学校における生活づくりへの参画
  - ア ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決
  - イ ホームルーム内の組織づくりや役割の自覚
  - ウ 学校における多様な集団の生活の向上
- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
  - ア 自他の個性の理解と尊重, よりよい人間関係の形成
  - イ 男女相互の理解と協力
  - ウ 国際理解と国際交流の推進
  - エ 青年期の悩みや課題とその解決
  - オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
  - ア 学校生活と社会的・職業的自立の意義の理解
  - イ 主体的な学習態度の確立と学校図書館等の活用
  - ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
  - エ 主体的な進路の選択決定と将来設計

# 生徒会活動「3内容」

1の資質・能力を育成するため、学校の全生徒をもって組織する生徒会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

- (1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営
- (2) 学校行事への協力
- (3) ボランティア活動などの社会参画

# 学校行事「5種類」

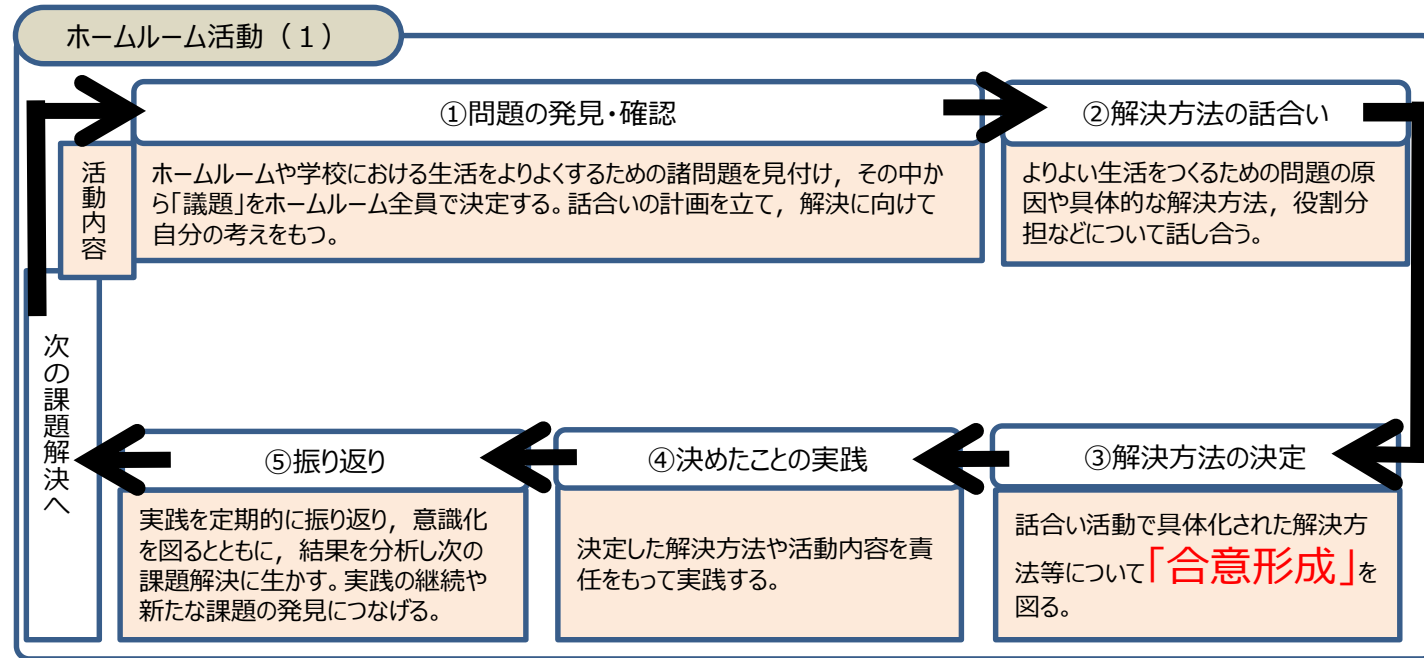
1の資質・能力を育成するため、全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

- (1) 儀式的行事
- (2) 文化的行事
- (3) 健康安全・体育的行事
- (4) 旅行・集団宿泊的行事
- (5) 勤労生産・奉仕的行事



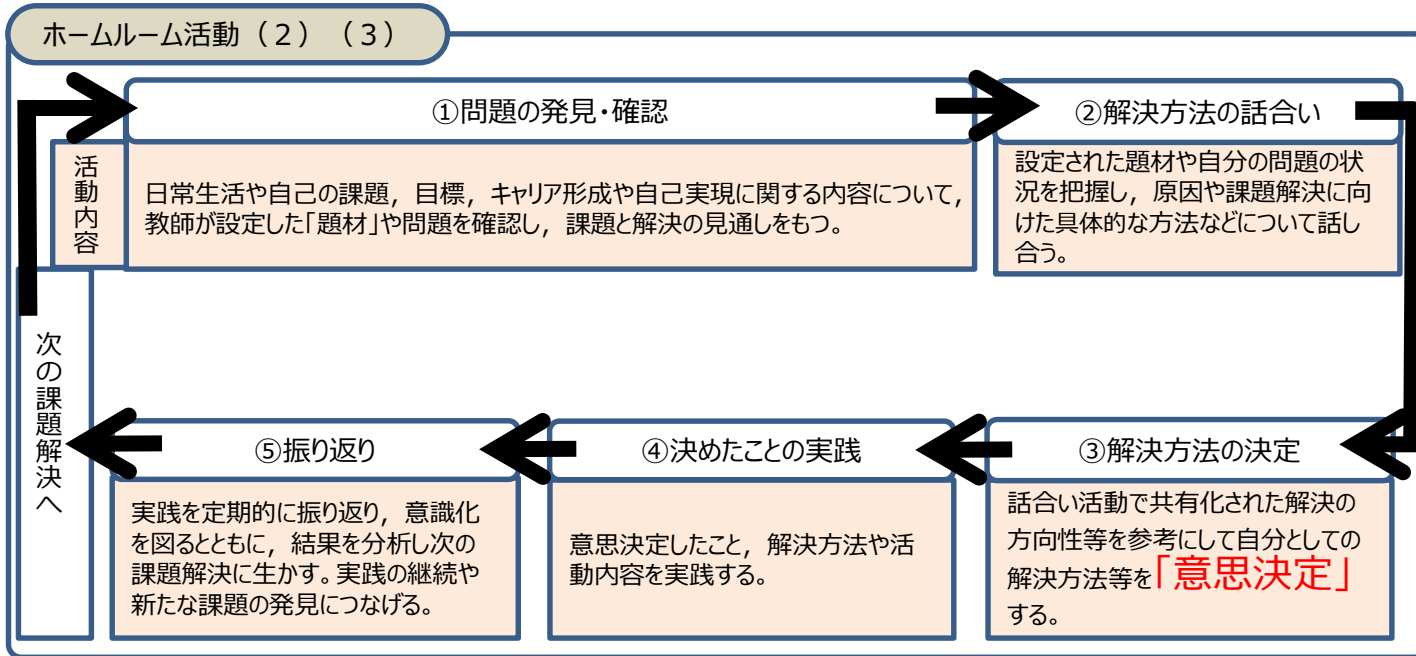
# ホームルーム活動（１）の学習過程

## ホームルーム活動（１）における学習過程（例）



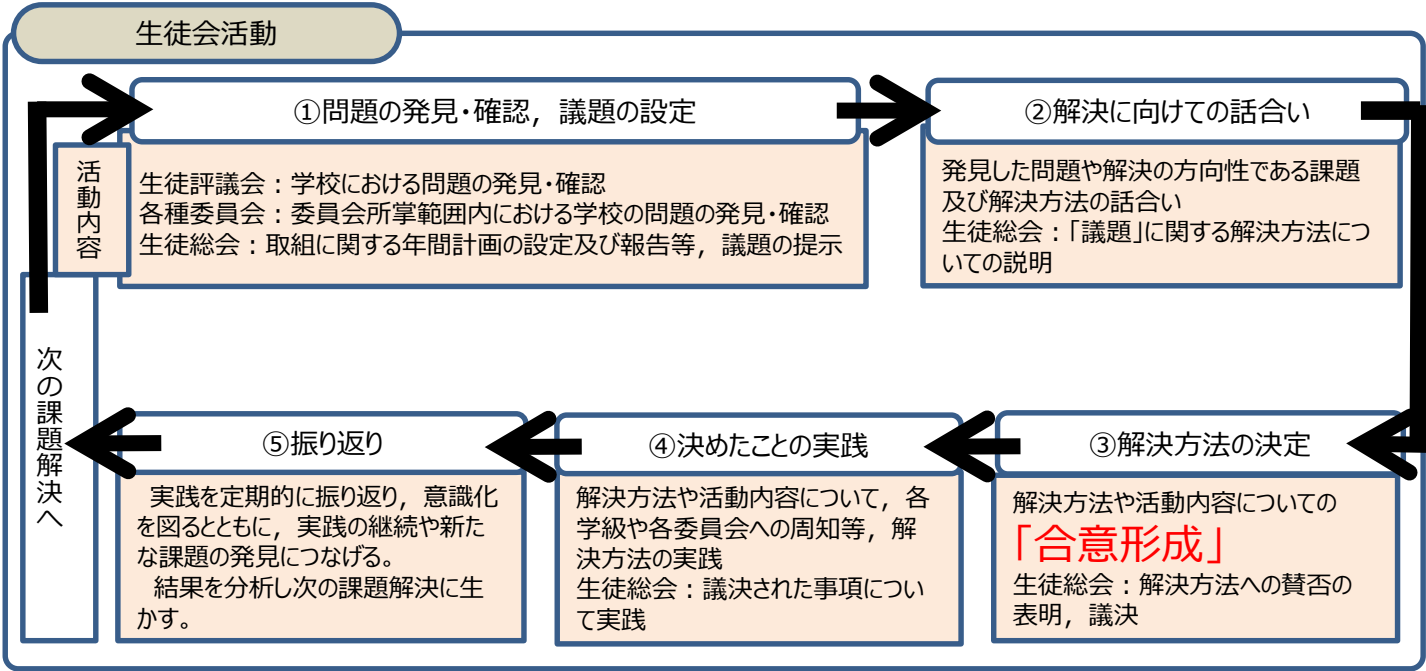
# ホームルーム活動（２）（３）の学習過程

## ホームルーム活動（２）（３）における学習過程（例）

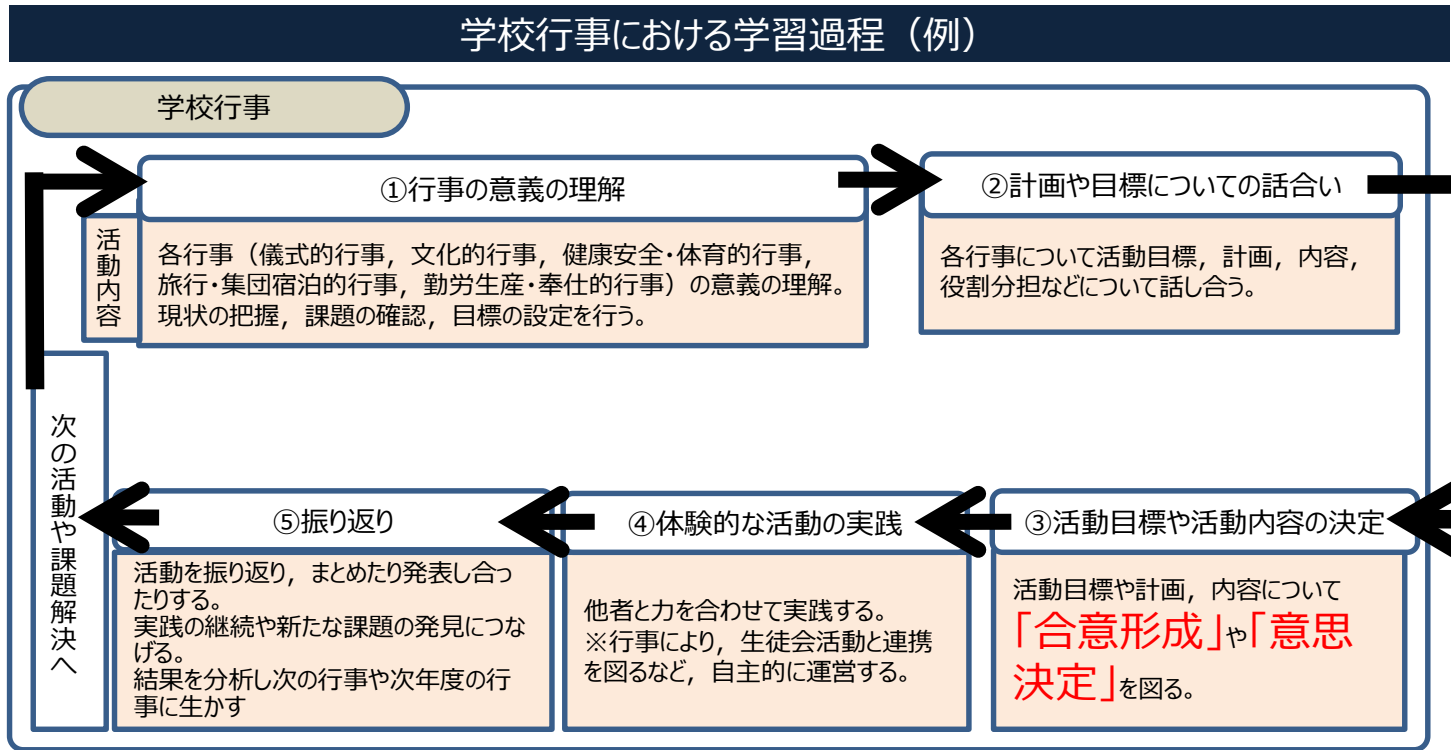


# 生徒会活動の学習過程

## 生徒会活動における学習過程（例）



# 学校行事の学習過程



# なぜ、特別活動で話し合い活動を重視するのか

高等学校においても、中学校同様に、話し合い活動における学校間、教師間の取組に差が見られ、話し合い活動に対する十分な理解の下に実践が行われてきたとは言いがたい状況が見られる。また、高校生の発達段階として、個人差はあるものの、自己開示に慎重になったり、相手の発言に対して意見を言うことをためらったりしがちな面も見られ、また、**これからの時代を生きる力として、個々の生徒に社会参画に対する意識の高揚を図り、合意形成に関わる自治的な能力を育むことが、これまで以上に求められている。**

# 特別活動を要に「キャリア教育を推進」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、**人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。**

# 学習指導要領「前文」

**前文**：学習指導要領にはじめて設けられた。

「一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識する」

中教審の議論では…

⇒若者は本来、可能性にあふれているはず

⇒日本の若者の自己肯定感，社会参画意識の低さは何に起因するのか

⇒学習者の主体性や意欲を引き出す評価になっているか

# 一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識

## 【高等学校学習指導要領総則】

生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫すること。

見通し、振り返る活動

生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としてつつ各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

特別活動を要としたキャリア教育



# 「見通し，振り返る活動」の充実

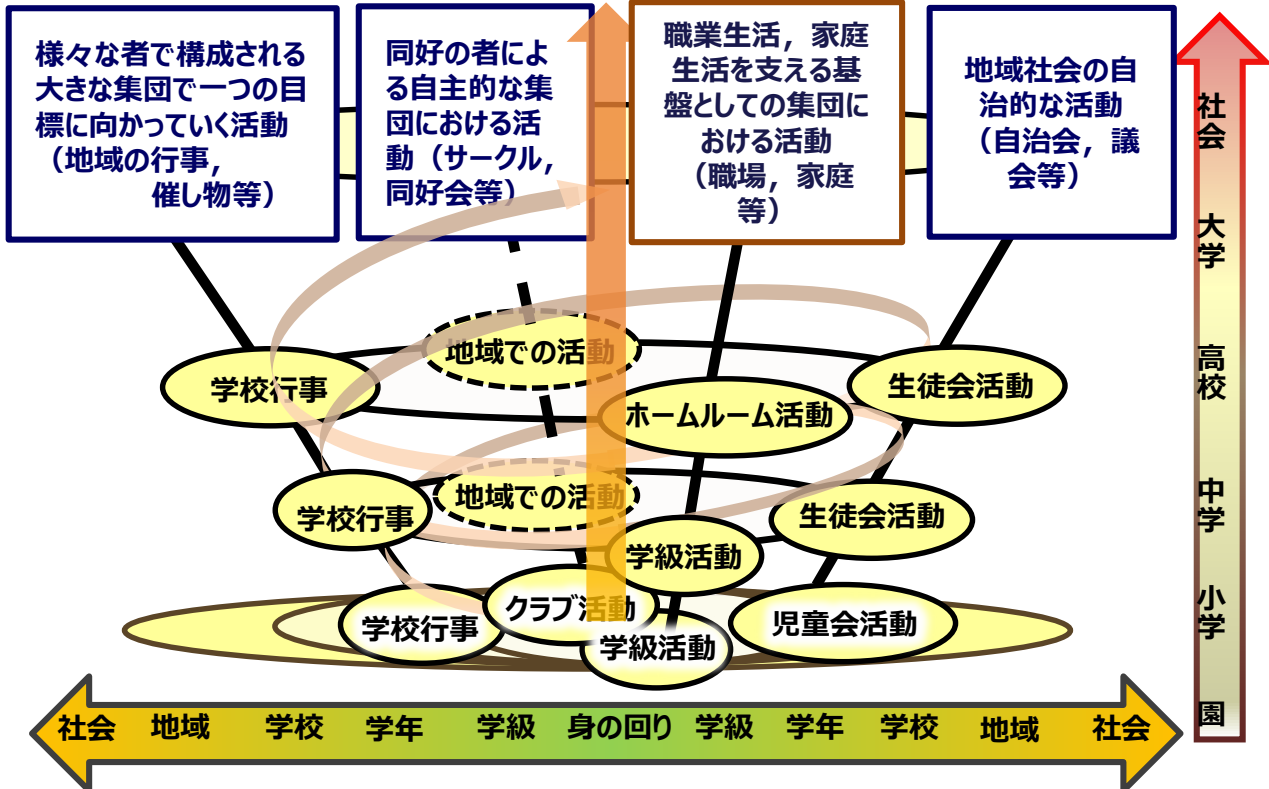
【高等学校学習指導要領特別活動】

〔ホームルーム活動〕

## (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

(3)の指導に当たっては，学校，家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て，学んだことを振り返りながら，新たな学習や生活への意欲につなげたり，将来の在り方生き方を考えたりする活動を行うこと。その際，生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。

# 特別活動そのものが社会につながる



# 特別活動を要にしたキャリア教育の充実

【高等学校学習指導要領解説 特別活動編】

一つ目は、高等学校の教育活動全体で行うキャリア教育の要としての特別活動の意義が明確になることである。



横をつなぐ

二つ目は、小学校から中学校，高等学校へと系統的なキャリア教育を進めることに資するということである。



縦をつなぐ

# 「キャリア・パスポート」の展開

【高等学校学習指導要領解説 特別活動編】

一つ目は、高等学校の教育活動全体で行うキャリア教育の要としての特別活動の意義が明確になることである。

横をつなぐ

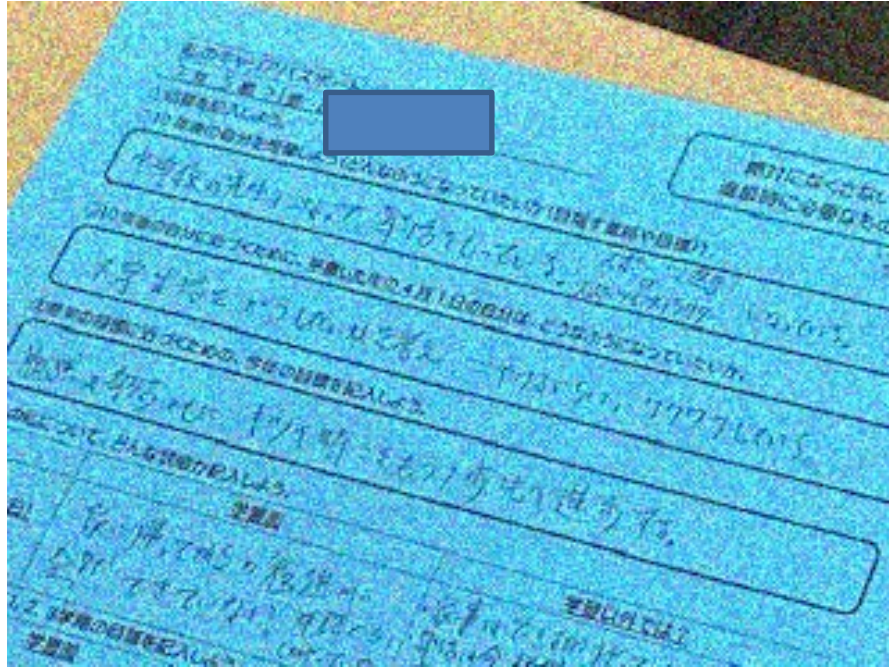
二つ目は、小学校から中学校、高等学校へと系統的なキャリア教育を進めることに資するということである。

縦をつなぐ

三つ目は、生徒にとっては自己理解を深めるためのものとなり、教師にとっては生徒理解を深めるためのものとなることである。

自己理解・生徒理解につなぐ

# “今ある宝”を大事につなぐ



文部科学省が示した参考様式等  
はあくまでも例  
示である。  
ホームルーム活  
動での活用事例  
などは国立教育  
政策研究所の  
リーフに示され  
ている。



# 特別活動の学習評価

生徒の自己肯定感や生活や学習への意欲を高めるために。



○生徒一人一人のよさや可能性などを積極的に評価することが極めて重要である。

○指導と評価に当たっては、各学校で「十分満足できる活動の状況」とは「生徒のどのような姿」を指すのかを検討し、共通理解を図ってその取組を進めることが求められる。そのうえで、「目指す生徒の姿」に照らして、十分満足できる活動の状況がみられた場合に指導要録に○を付ける。

# 生徒指導要録への記入

各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、各活動・学校行事ごとに、評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、○印を記入する。  
 改善等通知(30文科初第1845号平成31年3月29日付通知)高等学校(全日制の課程・定時制の課程)生徒指導要録(参考様式)

生徒氏名						
総合的な学習の時間の記録						
学習活動	観点	評価				
内容	観点	学年	1	2	3	4
ホームルーム活動						
生徒会活動						
学校行事						
授業外活動						
授業中活動						
授業外活動						
授業中活動						
出欠の記録						
区分	授業日数	出席日数	欠席日数	出席日数	欠席日数	備考
1						
2						
3						
4						

特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、設置者ではなく、各学校が評価の観点を定める。

特別活動の目標を踏まえ、例えば「よりよい生活を築くための知識・技能」「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」(小学校の例)のように、具体的に観点を示すことが考えられる。

ホームルーム担任以外の教師が指導する活動が多いことから、評価体制を確立し、共通理解を図って、生徒のよさや可能性を多面的・総合的に評価する。

# 学習評価のポイント

## ①指導と評価の計画の作成

## ②評価のための基礎資料の収集

## ③評価の実施

## ④評価体制の改善

- 内容のまとまりで評価規準を
- 評価機会の重点化を
- 「目指す生徒の姿」の具体化を
- “今ある記録”を補助簿に
- 付箋や校務支援システムで
- 生徒のよさを記録・共有，声がけに
- 総括的な評価のルールを確認し
- 自己評価や相互評価は参考に
- 所見欄や面談などの機会も生かして



# 新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 (高等学校 特別活動)

文部科学省  
初等中等教育局  
教育課程課教科調査官 長田 徹